

[announce:11328] 【検査部】 外部委託検査 内容変更のお知らせ

検査部Alert

平成28年9月21日

関係各位

検査部 部長 一山 智

外部委託検査 内容変更のお知らせ

平素より検査部検体検査業務に、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。
このたび、以下の検査項目に関して、内容の変更がございます。
診療科のみなさまにはご迷惑をおかけしますが、よろしく願いいたします。

記

●変更適用日

2016年10月 3日 (月)

(AVPの変更のみ2016年9月26日(月))

●変更となる内容

1. プロテインS(抗原量)

再外注先を変更し、検査所要日数を短縮します

それに伴い基準値が変更となります

(旧)65-135%

(新)70-140%

2. トロンボモジュリン

検査方法として、標準法であるCLEIA法を採用します

それに伴い基準値・単位・検査所要日数が変更となります

(旧)M 2.1-4.1 FU/mL, F 1.8-3.9 FU/mL

(新)12.1-24.9 U/mL

(相関)

<http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/~kensa/reference/item/img/6942correlation.jpg>

相関は良好ですが、データレベルが約5倍となるため、

10月3日以降もしばらくは、旧法・新法の両者を継続して報告します

3. ビタミンB2

測定頻度の見直しを行い検査所要日数を短縮します

[announce:11328] 【検査部】 外部委託検査 内容変更のお知らせ

4.KL-6

より高感度なCLEIA法試薬へと変更します

(相関)

<http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/~kensa/reference/item/img/6077correlation.jpg>

5.NMP-22

再外注先を変更し、検査所要日数を短縮します

それに伴い基準値が変更となります

(旧)12.0 未満

(新)12.0 以下

6.sIL-2R

測定範囲が拡大された試薬へと変更します

それに伴い基準値が変更となります

(相関)

<http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/~kensa/reference/item/img/6696correlation.jpg>

7.アルギニンバソプレッシン(基準値変更)

交差性の低い改良試薬へと変更します。

それに伴い基準値が変更となります。

それにより、DDAVP(デスマプレッシン)投与中でも検査可能となります

(旧)4.2 pg/mL 以下

(新)水制限：4.0 pg/mL 以下, 自由飲水：2.8 pg/mL 以下

(相関)

<http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/~kensa/reference/item/img/1156correlation.jpg>

●連絡先

検査部：中西(PHS：6204)・増田(PHS：2144)・志賀(PHS：2141)

LSIメディエンス(AVP以外の項目)：内線3764

ビー・エム・エル(AVP)：内線3495

検査部サポートライン PHS：2147